

◎ 欧州復興開発銀行を設立する協定の改正

(略称) 欧州復興開発銀行設立協定改正

平成	十六年	一月	三十日	ロンドンで作成
平成	十六年	五月	二十六日	国会承認
平成	十六年	六月	二十二日	受諾の閣議決定
平成	十六年	六月	二十二日	受諾書寄託
平成	十八年	十月	十三日	公布(条約第十二号)
平成	十八年	十月	十三日	告示(外務省告示第五百七十五号)
平成	十八年	十月	十五日	我が国について効力発生

目次

ページ

第一条の改正	三三九
--------	-----

欧州復興開発銀行を設立する協定の改正

欧州復興開発銀行を設立する協定の一部を次のように改正する。

第一条を次のように改める。

第一条 目的

銀行は、経済的な発展及び復興に貢献するに当たり、複数政党制民主主義、多元主義及び市場経済の諸原則を誓約しかつ適用している中欧及び東欧の各国における開放された市場指向型経済への移行並びに民間及び企業家の自発的活動を促進することを目的とする。銀行は、モンゴルにおいても同一の条件でその目的を達成することができる。このため、この協定及びその附属書において、「中欧及び東欧の各国」、「中欧及び東欧の諸国」、「中欧及び東欧の国」又は「受益国」というときは、モンゴルも含むものとする。

Amendment to the Agreement Establishing the European Bank for  
Reconstruction and Development

Article 1 of the Agreement Establishing the Bank shall be amended to read as follows:

Article 1

PURPOSE

In contributing to economic progress and reconstruction, the purpose of the Bank shall be to foster the transition towards open market-oriented economies and to promote private and entrepreneurial initiative in the Central and Eastern European countries committed to and applying the principles of multiparty democracy, pluralism and market economies. The purpose of the Bank may also be carried out in Mongolia subject to the same conditions. Accordingly, any reference in this Agreement and its annexes to "Central and Eastern European countries", "countries from Central and Eastern Europe", "recipient country (or countries)" or "recipient member country (or countries)" shall refer to Mongolia as well.

改正  
第一条の

(参考)

この改正は、モンゴルを欧州復興開発銀行の受益国とすることについて定めるものである。